

## 社会資本整備と財源

森地 茂

政策研究大学院大学 政策研究センター所長

長期停電をもたらした台風 15 号(死者 12 人)、148 ヲ所もの堤防決壊を起こした台風 19 号(死者 91 名)に続いて、台風 21 号(死者 12 人)の被害が報道された次の日、NHK 日曜討論で土木も含めた専門家達の議論は避難対策に集中し、ハード対策は無視された。欧米やアジアでも政治家のリーダーがインフラ強化を唱えるのと対照的に、この国のマスコミの議論と公共事業に批判的な政治家の多さは相変わらずである。

ちなみに国交省が温暖化に対応して河川整備の基本方針を改定するとのニュースが同日の早朝に配信されていた。台風 19 号による堤防決壊箇所数は、国の管理河川で 11 か所、県管理で 137 か所とのことであり、水系の管理体制にも課題がありそうである。気象変動による降雨の変化や、南海トラフ地震や首都圏直下型地震の危険が迫るのに、今までの延長戦のような議論でいい筈がない。今より遥かに貧しかった明治時代には、洪水を契機とした淀川放水路や荒川放水路の整備や、津波を契機とした高台移転などを行ってきたのである。

ところで、ロンドンでは 100 km 以上の都市鉄道を建設中であり、パリは 300km 以上の整備を進めようとしている。ニューヨークも鉄道整備を進めてきている。しかし、東京の鉄道網では、今後も続く人口増で更に悪化する混雑と遅れの頻発が放置されているのである。世界一の都市鉄道網だと内外で評価された要因は、高密度ネットワーク、高頻度運行、相互直通運転であった。今は逆に、これらの副作用で、遅れの頻発、多路線への遅れの波及、そして回復までに長時間を要するといった現象が起こっている。高密度ネットワークのため代替路線があり、旅客がそちらに流れると、満員のそちらの路線でも遅れが生ずる。また、線路上の多数の列車の存在が遅れの拡大の原因であり、回復に長時間を要する原因でもある。加えて老朽化による故障も頻発しているのに、平成 17 年の都市鉄道利便増進法以来 12 年間、新たな都市鉄道整備の政策展開はない。

日本の社会資本整備軽視の主たる理由は財政事情である。しかし、欧米も財政制約は同様であるから、財源確保のための努力をしているのである。都市開発の規制緩和による開発利益や PPP 事業などがその典型である。

例えば銀行より少し高い金利で元本の保証された PPP 事業債が発行されていれば如何であろうか？ 社会資本整備予算を金利と償還分に充てれば、数倍の事業が実行可能である。公団が資金調達する方式でも同様である。国債との競合関係はあっても、建物のリート市場と同様に、PPP 事業市場に新たな資金が集まるのではなからうか？

ニューヨークのハドンヤードの都市開発と地下鉄整備は、起債による資金調達と都市整備開発利益との組み合わせとも言えるのである。建設中の虎の門ヒルズ駅では都市開発の資金投入の仕組みが導入されたが、ニューヨークの事例は更なる可能性を示唆している。

(未来構想 PF 理事)

## WS 五方面作戦－4（五方面作戦以降に実現したプロジェクト）

当時の国鉄は、五方面作戦を推進する一方、将来に向けて3つの問題意識を有していた。一つ目は作戦以降の人口増加への対応。東京圏では75年から25年間でさらに1,300万人の人口増加が見込まれ、対応するピーク1時間当たりの輸送力として約30万人を確保する必要があった。

二つ目は、高い混雑率への対応。五方面作戦の成果として65～80年に輸送力を1.5倍に増強したが、輸送量も1.4倍に増加し、結果として80年の線区平均混雑率は250%と依然として高水準であった。三つ目は副都心方面への乗り入れ。これまでの都心直通は上野、東京、品川など東山手方面への直通が中心であったため、開発が進む池袋や新宿方面への乗り入れ強化が必要とされていた。

このような問題意識の中で生まれたのが「**開発線構想**」と呼ばれる輸送改善構想で、これは都心から概ね50～60キロ圏内にある各方面の既存駅から新たなルートによる新線を整備するとともに、新宿など西山手方面に結節する計画である。

### ■京葉線

総武開発線を引き継いだ「京葉線」は、総武方面の輸送力増強と混雑緩和を目的として、85年頃から段階的に開業され、90年に東京～蘇我間で全線開業した。京葉線は当初、貨物線として計画が進められていたが、湾岸地区の土地利用計画の変更に伴い旅客線機能を追加することで実現した。

### ■埼京線

東北開発線を引き継いだ「埼京線」は、東北方面の輸送力増強と混雑緩和、池袋や新宿など副都心方面への利便性向上を目的として85年に開業した。大宮～赤羽間での東北新幹線と併設した新線建設と共に、川越線の電化と既存の赤羽線の活用により、川越～池袋間の直通運転を実現した。川越～池袋間の到達時間も25分短縮され、その後、新宿、恵比寿と乗り入れを拡大し、現在では東京臨海高速鉄道りんかい線と相互直通運転を実施している。

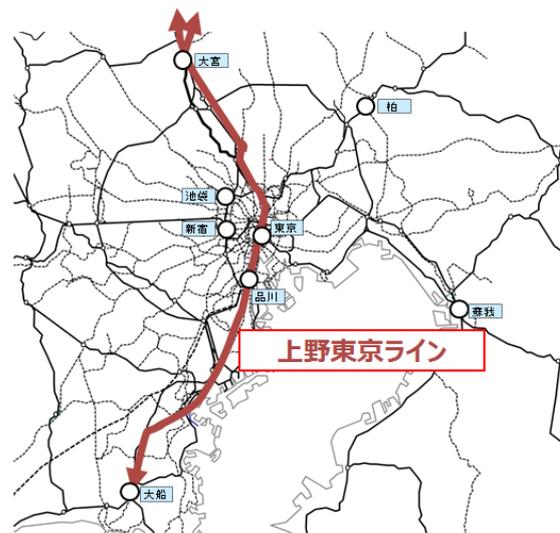
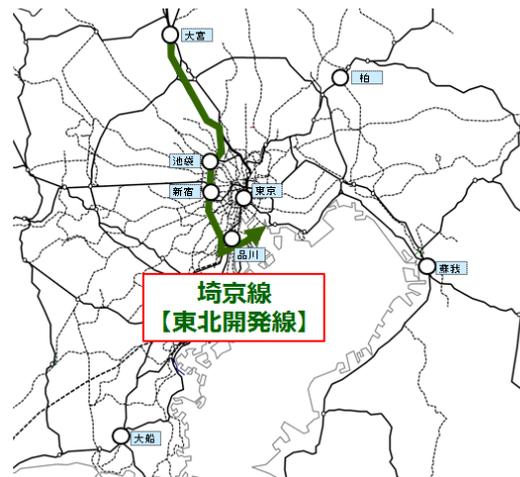
### ■湘南新宿ライン

東海道開発線を引き継いだ「湘南新宿ライン」は、東北方面における赤羽駅での乗換解消と埼京線の混雑緩和、東海道方面から池袋や新宿などの副都心方面への利便性向上を目的として2001年に運行開始された。山手・東北貨物線の旅客化や様々な設備改良を施し、当初は片道25本だった運行本数は現在67本まで増加し、横浜～新宿間の到達時間が11分短縮された。

### ■上野東京ライン

「上野東京ライン」は、東北新幹線建設時に運行を停止した東山手方面への直通運転の再開として位置づけられ、新幹線上部に在来線を重層的に構築することで上野～東京間に新線を整備した。並行する山手線上野～東京間の混雑緩和と、東北線、高崎線、常磐線の都心方面への乗り入れ強化を目的として15年に開業、到達時間が大宮～品川間が10分、柏～品川間が8分短縮された。

東京通勤『五方面作戦』



## SDGs (エス・ディー・ジーズ)

SDGs とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟 193 か国が、2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標です。17 の大きな目標と、それらを達成するための具体的な 169 のターゲットで構成されています。

■**持続可能な開発目標(SDGs)**は、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGs の目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030 年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。

■**国際社会**は 2001 年、開発途上国のための目標となるミレニアム開発目標(MDGs)を策定、15 年間で一定の成果をあげました。一方で、教育、母子保健、衛生といった未達成の目標や、一部地域での目標達成の遅れなど課題が残されました。また、深刻さを増す環境汚染や気候変動への対策、頻発する自然災害への対応といった新たな課題が生じたほか、民間企業や NGO などの開発に関わる主体の多様化など、MDGs の策定時から、開発をめぐる国際的な環境は大きく変化してきました。

■**MDGs** が開発途上国のための目標であったのに対し、SDGs は格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動対策など、先進国が自らの国内で取り組まなければならない課題を含む、すべての国に適用される普遍的(ユニバーサル)な目標です。また、その達成のために、先進国も途上国も含む各国政府や市民社会、民間セクターを含む様々なアクター(主体)が連携し、ODA や民間の資金も含む様々なリソースを活用していく「グローバルパートナーシップ」を築いていくこととされています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## ■17の大きな目標

ロゴマークには単純化された文字が表示されていますが、具体的な目標は以下のとおりです。

- 目標 1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 目標 2 飢餓をゼロに
- 目標 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
- 目標 4 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標 5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 目標 6 すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する
- 目標 7 手頃で信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 目標 8 すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する
- 目標 9 レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
- 目標 10 国内および国家間の不平等を是正する
- 目標 11 都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
- 目標 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 目標 13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- 目標 14 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 目標 15 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- 目標 16 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する
- 目標 17 持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する

## ■事例の紹介：目標 11

\*ロゴマーク：住み続けられるまちづくりを

\*具体的本文：都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする。

### 真実と数字

- ・現在、世界人口の半数に当たる 35 億人が都市で暮らしていますが、2030 年までに都市住民は 50 億人に達すると予測されます。
- ・現在、スラム住民は 8 億 8300 万人に上りますが、そのほとんどは東アジアと東南アジアで暮らしています。
- ・面積にして地球の陸地部分のわずか 3%に過ぎない都市は、エネルギー消費の 60~80%、炭素排出量の 75%を占めています。
- ・急速な都市化は、真水供給や下水、生活環境、公衆衛生に圧力を加えています。
- ・2016 年の時点で、都市住民の 90%は安全でない空気を吸っており、大気汚染による死者は 420 万人に上っています。全世界の都市人口の過半数は、安全基準の 2.5 倍以上に相当する水準の大気汚染にさらされています。

## たすきリレー

## お風呂を楽しむ

温かいお風呂が恋しい季節となりました。入浴で睡眠の質があがり、体の痛みが和らぎ、疲労も回復することで活動的になる。特にシニア世代では、お風呂に入ることによって得られる、こうした総合的な好循環が影響しているとか。

## ■入浴の効用

お風呂の代表的な効果は「温熱作用」。体が温まると血管が広がって血液の流れが良くなる。すると、酸素や栄養分などが行き渡り、老廃物も回収されやすくなる。温めると、慢性的な痛みの原因となる神経の敏感さが和らぐ効果もある。

ほかにも、水圧によって締め付けられることで血流が改善する「静水圧作用」、お風呂の中で浮く関節や筋肉の緊張が緩む「浮力作用」などが期待できる。こうした作用が総合的に働くことで、介護を必要とするリスクを減らす可能性もあるという。

## ■入浴の注意事項

厚生労働省の研究班の推計では、入浴に関連する事故で年間約19,000人が亡くなっているという。リビングなどお風呂場との温度差で、血圧が大きく変わる「ヒートショック」によって引き起こされる脳卒中や心筋梗塞が原因とされている。その他にも、熱中症やアルコールによる影響などがあるそうだ。

シニアがお風呂に入る際に特に注意すべきことは、

- ① 気持ちがいいからと浴槽の中で寝ないようにする・・・溺死に繋がる
- ② 一気に全身でつからず 39℃前後のぬる湯で半身浴・・・心臓や肺への負担を避ける
- ③ 水分補給を入浴前後でわすれずに
- ④ お風呂上がりの保湿・・・お風呂で潤った肌は10分程度で急激に乾燥するのですぐにクリームなど

(朝日新聞 be 2019.10.26 より)

## 効果的で、安全なお風呂の楽しみ方

早坂信哉教授への取材から

## 入浴前

- 水分を補給する(入浴前後でペットボトル1本が理想)
- リビングと脱衣所の温度差を5度以内に
- 浴室も暖める。「ふたを開ける」「熱いシャワーを出す」などの方法で

## 入浴

- 心臓に遠いところからかけ湯をして入る
- 40度のお湯に10分の入浴が目安
- 浴槽では居眠りをしない

## 入浴後

- 水分を補給する
- 保湿もしっかり

## その他

- 酔っている時は入らない
- 食事や運動の1時間後に。入浴が消化や疲労回復の助けになる
- 就寝の1~2時間前に入る。入浴後、急激に体温が下がることでよい睡眠につながる
- 入浴に不安のある人は、家族に声をかける。一人暮らしの場合は、銭湯利用も



🌡️ 40度 🕒 10分

NEWS

■技術講演会（仙台）が開催されました

講師：山本卓朗 未来構想 PF 会長

日時：2019.10.18 16時～17時

場所：JR 東日本東北工事事務所 会議室

演題：これからの社会とインフラ整備をどう考えるか

参加者 約 70 名

2019.10.18 東北工事事務所

### これからの社会とインフラ整備をどう考えるか

未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム  
山本卓朗

### 目次

1. 工学の原点 Civil Engineering
2. これからの社会をどうみるか
3. これからのインフラをどう考えるか

付：千葉県台風15号  
付：海外事業に向けて

### これまでの10年

＝課題顕在化の時代＝

- 初代iPhone(2007年)・・・情報化の加速
- 東日本大震災・激甚災害・・・安全の高まり
- インバウンド・国際化・・・インフラ輸出
- 少子高齢化・・・担い手不足
- インフラ老朽化・・・国民会議・市民参画

建設界＝談合訣別以降改革が進んだか？

### これからの10年(過去30年相当)

＝急速変化の時代＝

- 情報化システム中心の世界・・・AI+IOT
- 飛躍的な国際化・国際交流
- 超高齢・人口減少・少子化

“あらゆる境界をひらく” 学会100周年  
脱境界・脱専門・・・あらゆるところへ市民

建設界がついていけるか？

### 3. これからのインフラ

考え方

- いわゆる社会インフラだけでなく多様な視点で議論する。
- 社会の要請、時代の要請で変化することを認識する。
- 公共事業の前に社会資本整備を議論する。
- 新設→保守 → 新設→改良→保守

### インフラを考える三つの視点

＝専門家でない市民が納得する考え方＝

- ① 豊かさや貧しさ
- ② インフラの持つ多様性
- ③ 国際比較で 客観的に評価

### ① 豊かさや貧しさ

豊かさの例

- 金銭的な豊かさの外に・・・
- 生活利便の豊かさ 文明の利器、医療
- 生活環境の豊かさ 美しい景色、清流
- 心をいやす豊かさ 歴史伝統文化、祭り
- 人間関係の豊かさ 絆、家族、友人、学友

### 貧しさの例

- 金銭的な貧しさの外に・・・
- 生活利便の貧しさ 停電、断水、どろんこ道 医療崩壊、
- 生活環境の貧しさ ゴミ飛散、どぶ、電柱、
- 心を冷やす貧しさ 歴史破壊、犯罪増加
- 人間関係の貧しさ 核家族、独居老人、いじめ

### ② インフラの持つ多様性

＝市民工学的にみれば＝

例えば「道路」はすべてに関わる

経済インフラ：国際競争、食糧自給、  
生活インフラ：交通、医療、エネルギー  
環境インフラ：電柱、河川敷、公園、街路樹  
安全インフラ：自然災害、安全保障  
教育インフラ：子供教育、社会人教育

### ③ 国際比較で評価

例えば

- ・港湾整備
- ・無電柱化
- ・交通＝旅行速度
- ・テレワーク
- ・都市の自然災害リスク
- ・環境修復
- ・都市のシンボル
- ・安全都市



## ■シビルNPO連携プラットフォーム（CNCP）が会報 第67号 を発行

- ◇シリーズ 「土木ということば」 第19回 国語辞典の「土木」の「土と木」
- ◇巻頭言 世のため人のため CNCP 理事 山崎 昌
- ◇コラム 緊急レポート 台風19号災害の被災地・水戸の現場から  
茨城の暮らしと景観を考える会代表理事・CNCP 理事 三上靖彦
- ◇トピックス 講演会報告「シビルエンジニアリングに求めるもの」  
メトロ設計技術顧問 田中 努
- ◇土木と市民をつなぐシリーズ 「市民の信頼を得るには、理念・哲学の構築と生活感が重要！」  
ジャーナリスト（元NHK解説主幹） 齋藤広保
- ◇部門活動紹介 土木学会連携部門 土木と市民社会をつなぐ活動 CNC 常務理事 田中 努
- ◇サポーターからの投稿  
「数学と理科が暮らしをつくる！～わたしの住むまちをデザインする仕事～」  
日刊建設通信新聞社 田嶋千文

\*詳細はCNCP事務局にお尋ねください。

Email: [info@npo-cnep.org](mailto:info@npo-cnep.org) HP: <http://npo-cnep.org>

## ■最近の気になるニュース

岩井有人さん（JR 東日本東京工事事務所）の Facebook より抜粋させて頂きました。

### ① タイ首都圏3空港高速鉄道、CP陣営が正式契約（10.25）

タイ最大財閥チャロン・ポカパン（CP）グループを中心とする企業連合は24日、タイ国鉄との間でバンコク首都圏の3空港を結ぶ高速鉄道の建設に向けた契約を結んだ。総事業費が2245億バーツ（約7857億円）の大規模プロジェクト。

### ② JR 東日本、首都圏で年内にも MaaS 導入へ（11.04）

JR 東日本は年内にも都内で複数の交通手段をつなげて1つのサービスとして提供する「MaaS（マース）」を始める。スマートフォンアプリを通じタクシーやシェアリング自転車の検索や決済などができる。都内でマースを大規模に展開するのは初。

### ③ IoT サービス創出へ 100 社連合、東芝やソフトバンク（11.06）

東芝やソフトバンクなどは2020年春、あらゆるモノがネットでつながるIoTを活用した次世代サービスを開発する企業連合を立ち上げる。次世代通信規格「5G」で業種を超えて人々の暮らしを変えるようなサービスを生み出す。

- ・東京千代田区、江戸時代の地図を全戸に配布（11.13）
- ・道路舗装で太陽光発電（11.13）
- ・冷戦終結30年 新たな壁はもういらぬ（11.09）
- ・東京駅にシェアオフィス 6種の席が選べる（11.07）
- ・成田空港滑走路増へ 計画改定（11.06）
- ・フリーランス、170万人に（11.04）

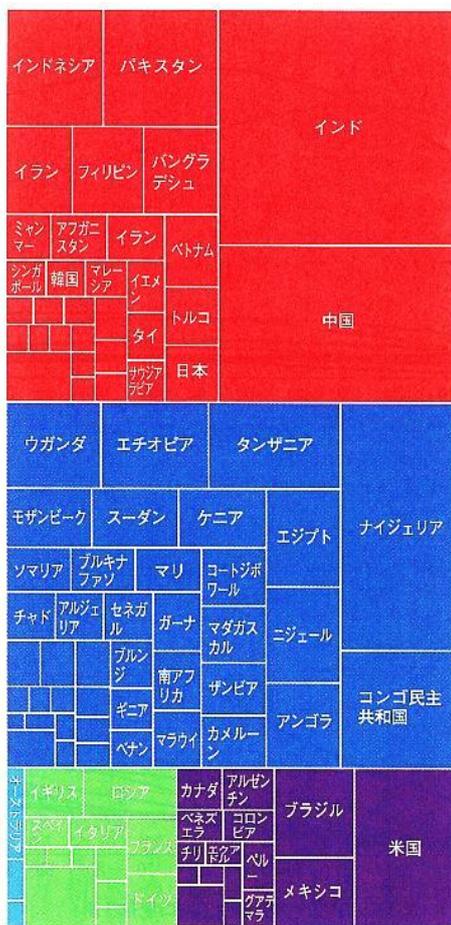
- ・鉄道人手不足、IoT が救う。川重・日立、線路監視など (11.04)
- ・羽田線約 3 割の大幅値下げ 京急「損して得」(11.01)
- ・リニア問題、国交省交え静岡県・JR 東海 3 社協議 (11.01)
- ・文化庁「歴史の道百選」が完成、初選定から 23 年 (10.31)
- ・「観光公害 (オーバーツーリズム)」対応策を共有へ (10.27)
- ・富士山が初冠雪、昨年より 26 日遅く (10.23)
- ・東海道新幹線 チケットレス乗車、世界で予約可能に (10.22)
- ・天皇陛下、即位を宣明へ (10.22)

今月の国際比較データ

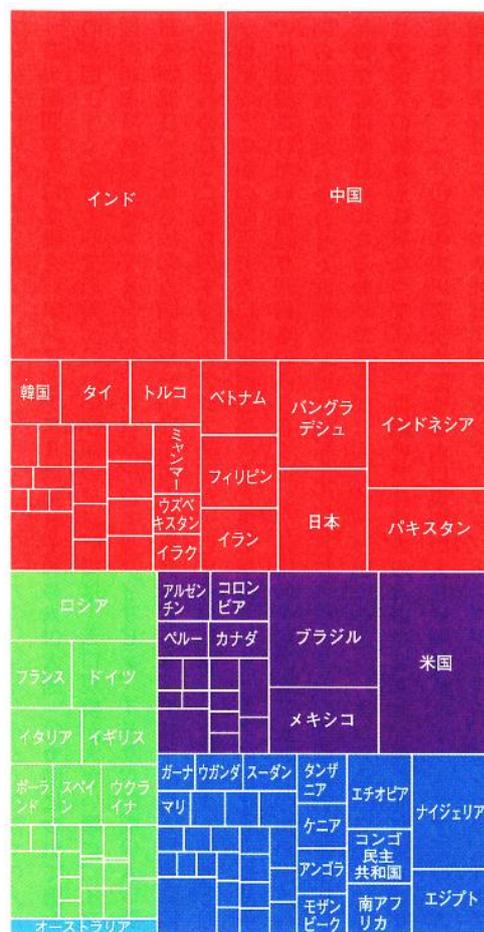
① 世界の人口分布 (2001 年・2100 年)

出典：2100 年の世界地図 岩波新書

図は 21 世紀の入口 (2001 年) と出口 (2100 年) の変化を示した。世界各国の人口のツリーマップである。2001 年の主要な人口大国は中国とインドだが、2100 年では、インド、パキスタン、バングラディッシュの南アジア 3 国の存在感が大きくなり、それ以上にアフリカ諸国の人口規模がアジアと並び立つ状況になっているだろう。2100 年の日本の人口は 8500 万人と予想されており、アフリカのカメルーン、マリ、ブリキナファソあたりの国々と並ぶ。



世界の人口分布のツリーマップ(2100 年)



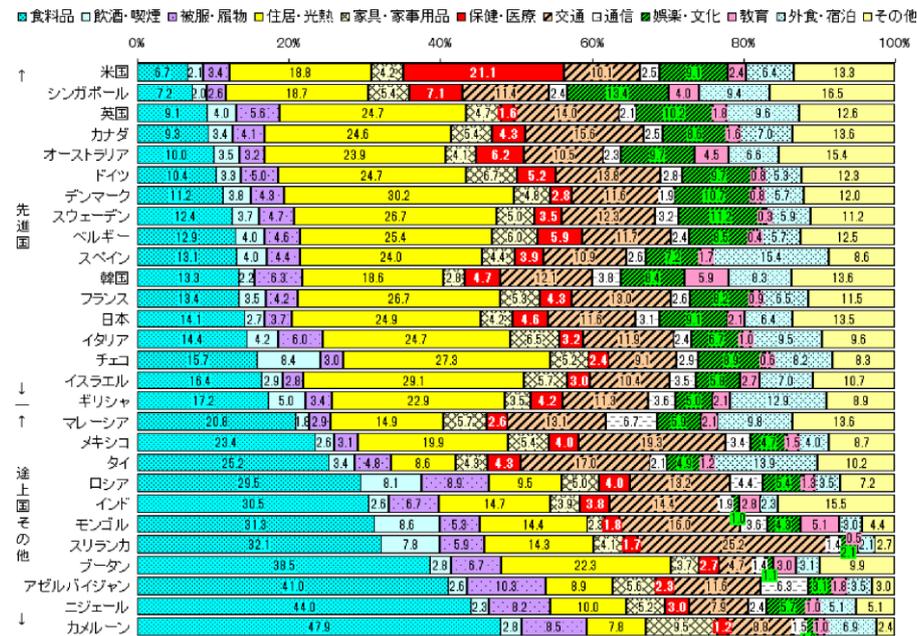
世界の人口分布のツリーマップ(2001 年)

② 家計消費支出の構成 出典：日本進化論 落合陽一著 SB新書

各国の家計調査は、原資料の収集の困難を別にしても、対象、定義、区分が異なるので結果を相互に比較することは難しい。他方、SNA（国民経済計算体系）は、国連の推奨する方式で比較的統一が図られているので、そのデータを使用し比較したものである。

食費は、先進国は比較的比率が小さいが途上国は高くなっている。住居費は、ヨーロッパ先進国は2割を超え比較的高い水準だが途上国は1割前後と低い。医療費は米国が21.1%と際立って高くなっているが、社会保険としての医療保険が発達せず個人の支払いが多いことが原因と考えられる。娯楽文化費は、先進国でおおむね10%前後だが途上国は概して低い。

家計消費支出の国際比較(2013年)

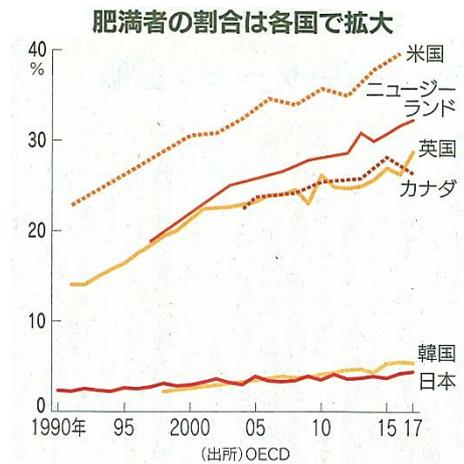


(注) 国内家計最終消費支出の構成。国の並びは食料品割合の低い方から。便宜的に同割合が20%未満を先進国としている。日本、マレーシア、タイ、ロシア、スリランカ、ブータン、アゼルバイジャン、ニジェール、カメルーンは93SNAベース、それ以外は2008SNAベース。住宅費(住宅・光熱)は持ち家の帰属家賃を含む。保健・医療には私的保険支出は含むが社会保険負担は含まない。

(資料) United Nations Statistics Division (UNSD), National Accounts Official Country Data (UNdata 2016.5.8)

③ 肥満者の割合 出典：日本経済新聞 (2019.08.14)

肥満は世界的な問題である。経済協力開発機構(OECD)によると、主要国では2人に1人が肥満若しくは過体重の状態にあり、人口に占める肥満者の割合は年々増え続けている。主要国の中では、日本は肥満者の割合が低い。2017年時点では4%と、OECD平均(24%)を大きく下回る。パンではなくコメを主食とし、野菜や魚介類多く食べ、豆腐など豆類も好む。健康面からみて日本食は世界的に評価が高い。ただし、日本人は欧米人と比べると糖尿病になりやすいというデータもある。



## PF書店

## ① ロウソクの科学

ファラデー著 三石巖訳 角川文庫

今年のノーベル化学賞受賞が決まった“吉野彰”さんが、化学に興味を持つきっかけになった本として話題になっている。この本は、山本PF会長の推薦で第40号（2016.10）で掲載しているが今回再掲載する。

本書の内容は1861年のクリスマス休暇に、ロンドンの王位研究所で催された連続6回の講演の記録である。1本のロウソクを用いて、科学と自然、人間との深い交わりを伝えている。科学の面白さ、そして人類の未来をも照らし出す名著で、技術屋必見。



## ② 2100年の世界地図

峯陽一著 岩波新書

世界人口の重心が変化していく。2100年までに世界の人口は百億人を超え、アフリカとアジア、すなわち「アフラシア」の人々が世界人口の8割以上を占める。本書地理情報システム（GIS）の手法を駆使し、人口分布などの地球規模の情報を多彩なカラー地図で示す、2100年の未来予測である。

- 第1部 2100年の世界地図
- 第2部 後にいる者が先になる
- 第3部 アフラシアの時代



## ③ 読書会入門

山本多津也著 幻冬社新書

著者は、日本最大規模の読書会コミュニティ「猫町倶楽部」の主催者。名古屋や東京など、全国5都市で年間約200回、延べ9千人が参加する読書会を開催。この読書会は課題本を読了してから参加し、他人の意見を否定しないことがルールだ。本を介した居場所作りのありかたを伝授する。



## 事務局通信

## ◆未来構想 PF のホームページを改修しました。

会員はもちろん社会に大きく開かれた PF を目指し、「参加型」の HP としました。  
サイトのリンクは以下の通りです。

<https://miraikoso.or.jp/> (\*スマホで未来構想 PF と検索しても OK)

広くサポーター募集を行い、会員専用ページも準備しました。皆さん、是非「新 HP」を楽しんで下さい。そして“参加”して下さい。

## ◆技術講演会を開催します。

「鉄道から発展した日本の近代土木」～世界が驚いた“19世紀末の奇跡”とは何か！～

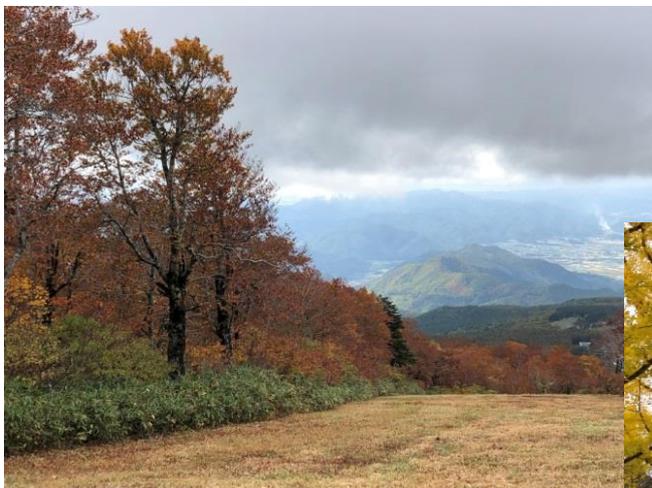
講演者：緒方英樹氏（土木学会広報センター土木リテラシー促進グループ長）

日 時：令和元年 12 月 11 日（水） 15:30～17:00

場 所：大崎ガーデンタワー20階 JRC 大会議室（〒141-0033 東京都品川区西品川 1-1-1）

## ● 今月の写真コーナー ●

今年も山形の秋を堪能しました。蔵王の紅葉と天童のイチョウ並木です。



(写真提供者：JR東日本東京工事事務所 岩井有人さん)

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。  
連絡先：未来構想 PF 事務局 土井 携帯:090-9150-8613 メール：[info@miraikoso.or.jp](mailto:info@miraikoso.or.jp)  
〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28